

第3回 西東京市立田無第三中学校運営協議会 議事録

日 時 令和6年9月24日（火）午前11時から正午まで

場 所 田無第三中学校 第2音楽室

出席者 今井 文男委員、伊藤 慎一委員、島崎 寛巳委員、本田 雄三委員、
大久保 順子校長、脇山 聖司副校長

欠席者 大場 愛委員

内 容（全体進行：脇山副校長）

- 1 校長挨拶
- 2 会長挨拶
- 3 学校の様子について（大久保校長・脇山副校長）
 - ・夏季休業、2学期当初の様子
 - ・全国学力・学習状況調査の結果
 - ・学校アンケート（1学期）の結果
- 4 その他（意見交換）

校長：学校評価アンケートでは、21%の生徒が気軽に相談できないと感じていることが気になった。教員は概ねできていていると考えているが、意識の差がある。このことについては、教員にも話をした。前回、笑いのある学校にとの御意見があった。生徒が楽しいと感じる取組もやっていきたい。生徒のボランティア活動も啓発しているところである。参加した生徒に光を当てたい。何かその方法はないかと考えている。今年度は校内研究で授業改善を図っている。全員で授業を見て、全員で検討する取組である。生徒が主体的に学習する授業展開を考えているところであるが、現状は教授型の授業がまだまだ多いと考えている。明日、けやき小学校の6年生に学校説明会をする。来年度は、早い時期に部活動体験をしたいと考えている。けやき小の保護者の会とも連携が必要かもしれない。多くの小学生にぜひ三中に入学してほしいと思っている。

島崎委員：オンラインでアンケートをやっているのはよい。保護者の回答数が少ないのは気になる場所である。

今井委員：保護者ではよく分からないということが本音ではないだろうか。

加藤委員：保護者として正直分からないこともある。家庭で話さない子もいるので、なかなか知ることができないのではないだろうか。例えば子どもが委員会に入っていないとその質問はやっていないなと思ってしまう。

校長：回答に「分からない」という選択肢を入れてもいいのかもしれない。

伊藤委員：保護者が生徒から情報が得られていないと知ることは必要ではないか。

本田委員：読書の実態について家庭に投げかける質問は入れてよかったと思う。

校長：家庭に投げかける質問必要と感じて入れた。行事や諸活動に主体的に取り組んでいるところは、教員の成果でもある。今後FM西東京都と連携した取組を考えて

いる。楽しいことをたくさんできる学校にしたい。

今井委員：よい取組、進めて行ってほしい。

本田委員：部活動体験の早い時期の実施には賛成。手伝えることがあれば協力したい。

校長：4年生から6年生に体験させたいと考えている。けやき小の保護者の会とも連携したい。できれば、3年生が在籍している4月5月にできるといいなと考えている。

副校長：本日は、これにて閉会とする。次回は、11月13日（水）。